

2013年8月13日

mail ニュース

No.22・通巻297

自治労連

都庁職

自治労連都庁職員

労働組合

発行人 風間隆行

TEL 03-5381-0250

原水禁世界大会開かれる

今年も夏の猛暑の中、原水爆禁止世界大会が広島と長崎で開催されました。まず8月3日から広島で国際会議を始めとした会議が開かれました。私たちは7日からの世界大会・長崎に参加してきました。

7日に開かれた2013年世界大会・長崎の開会総会には海外と全国から6500人が参加しました。私たちも参加した平和行進の通し行進者などが壇上に上がりました。ビキニ・デー集会などへの参加ですっかり人気者になったフィリピンのマラヤ・ファブロスさんは、アイパッド?を片手に日本語で「私の願いは核兵器をなくすこと」と語り、今流行っている言葉をもじり、「核兵器禁止条約交渉をいつ始めるの?」「今でしょ」などと、会場との掛け合いで喝采を浴びました。

被爆者で今年なくなった山口仙二さんをしのんで黙祷、安齋育郎大会議長団の主催者報告、田上長崎市長、日本原水協谷口代表委員の挨拶、アンゲラ・ケイン国連軍縮問題担当上級代表演説(代読)が行われた後、新アピール署名303万人分のパネルを掲げて全国の参加者が登壇し、大きな拍手が起こりました。



そのほか、静岡県湖西市の三上市長、ノルウェー政府代表、海外代表4人の発言などがありました。

二日めの8日には、15の分科会・動く分科会が開かれました。自治労連都庁職の森田と都庁法人の菊間、鈴木、三島の4人は、「動く分科会・佐世保基地調査行動」に参加しました。この分科会は人気があったらしく、

A・B二つのコースに分かれ、それぞれ4台ずつのバスで移動したので、総勢300人程度が参加したと思われます。

戦前は軍港としてアジア侵略の出撃基地であった佐世保は、戦後はアメリカ海軍第7艦隊佐世保基地として創設されました。それを狙ってアメリカは、戦争末期にも佐世保の施設を爆撃しなかったといえます。朝鮮戦争やベトナム戦争では補給基地となり、その後はアメリカの世界戦略の下、アジアへの出撃基地、補給基地として急速な機能強化が進められました。イラク侵略戦争では、弾薬・燃料の補給基地の役割を果たし、強襲揚陸部隊は在沖縄海兵隊をアフガニスタンからイラクに輸送しました。その米海兵隊はファルージャでの戦闘に参加し、1300人を超えるといわれるイラク市民などを殺害しました。

佐世保基地行動は基本的にバスで移動しながらの視察でしたが、佐世保港では船に乗り、港内を一周、バスとともに分かりやすい説明を受けました。その後、港を一望できる弓張岳の展望台に登り、再び説明を受けました。

最終日の7日は再び開会総会と同じ市民会館に集まり、開会総会よりも多い7000人の参加で閉会総会が開催されました。

今回は、東京自治労連が青年の交流会を開催し、都庁からも多数が参加しました。自治労連都庁職では、この青年交流会に参加しない人を中心にして自治労連都庁職交流会を開催しました。

自治労連都庁職は、今回の原水禁世界大会報告集会を兼ねて、9月6日に学習会を開催いたします。こちらのほうにも積極的な参加をお願いいたします。

原水禁世界大会報告・学習・交流集会 核兵器のない世界へ

- ・日時 **9月6日（金）6時30分から**
- ・場所 **都庁職大会議室**
- 【内容】
- ・講演 **フリージャーナリスト 西谷文和 さん**
(元大阪府吹田市役所職員)
- ・特別報告 **2015年NPT会議に向けた取り組み**
自治労連青年部書記長 岡崎 加奈子 さん
- ・**2013原水爆禁止世界大会参加者からの報告**